

8 特別企画 Special Events

1) 特別企画

①「高齢者の生活支援用品コーナー」

高齢者は年齢とともにペットボトルのキャップや缶詰を開けるのに苦労します。H.C.R. 2011では高齢者・障害者の生活を支援するグッズや、JIS規格についてデモストレーションを交えながら紹介しました。

| | |
|-----|--|
| 場 所 | 東展示棟6ホール内 「特設会場F」 |
| 内 容 | a. 用具の展示 ア. キッチン周りの用具 イ. ダイニング周りの用具 ウ. 居間周りの用具 エ. その他 b. デモンストレーション 5日 13:30~15:00、6日 10:30 ~ 12:00、7日 13:30~15:00 |
| 協 力 | 財団法人 共用品推進機構 |

②「福祉機器開発最前線」

福祉機器は高齢者・障害者の自立や介護の支援に大きな役割を果たします。H.C.R. 2011では現在開発が進められている福祉機器と新発売された福祉機器についてデモンストレーションを交えながら紹介しました

| | |
|--------|--|
| 場 所 | 東展示棟6ホール内 「特設会場E」 |
| 内 容 | Scout Crawler (スカウト クローラー) オットーボック・ジャパン (株) |
| | 顔表情筋を用いた電動車いす制御システム 宮崎大学工学部 |
| | 空気浮上ユニットを用いた移動用具 (通称“空飛ぶいす・空飛ぶ座布団”) 神戸学院大学 |
| | 空港用非金属竹フレーム車いす (仮称) (独法) 産業技術総合研究所 |
| | トレッカーブリーズ (有) エクストラ |
| | 視覚障がい者用筆記具「触図筆ペン」 (有) 安久工機 |
| ウ. その他 | 疾走用膝継手、ステップ用膝継手、 子ども用足部と足部カバー (株) 今仙技術研究所 |

③ あるテク介護スキルアップ講座

～携帯電話やタブレットPCなど身近にあるテクノロジー (あるテク) を活用した介護スキルアップ講座～

近年、携帯電話・スマートフォンやパソコンなど身近にある機器の技術革新は目覚しく、これまで専用の機器を必要とした多くの障害がある方のコミュニケーションが気軽に、そして安価にできるようになってきました。

ここではタブレットPC (電子ブック) や携帯電話など身近な機器を使って生活を豊かにするヒントを紹介しました。

| | |
|-----|-------------------------|
| 会 場 | 東展示棟3ホール入口横ガレリア 「特設会場D」 |
|-----|-------------------------|

●プログラム

介護のための生活支援機器の活用講座

| | | |
|----|---------------|---------------------------------------|
| 5日 | 11:30 ~ 12:30 | 高齢者の安全・安心を確保する技術 ～呼び出しや見守りの装置～ |
| | 13:30 ~ 14:30 | 高齢者の記憶を支える技術 ～ICレコーダやデジカメなどを活用しよう～ |
| | 15:30 ~ 16:30 | 高齢者の読書を支える技術 ～簡単、便利、電子ブックの活用～ |

介護の現場でのコミュニケーションのスキルアップ講座

| | | |
|----|---------------|--------------------------------------|
| 6日 | 11:30 ~ 12:30 | 携帯電話やデジタルカメラの活用で産み出す 楽しいコミュニケーション |
| | 13:30 ~ 14:30 | タブレットPCを使ったこれからのコミュニケーション |
| | 15:30 ~ 16:30 | 携帯電話を活用したコミュニケーション ～どう話題を提供していくか～ |

快適な生活をおくるために ～あるテクの活用講座～

| | | |
|----|---------------|--|
| 7日 | 11:30 ~ 12:30 | 高齢者のための楽々パソコン操作術 |
| | 13:30 ~ 14:30 | さわがしい環境を静かな環境に変える「あるテク」 ～ノイズキャンセルヘッドフォンなどの活用～ |

●講 師 中邑 賢龍氏 東京大学先端科学技術研究センター教授 他

2) 特設会場

①「被災地応援コーナー」

会場内に東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県 (岩手県、宮城県、福島県) のセルフ製品を販売するコーナーを設置いたしました。

| | |
|-----|----------------------|
| 会 場 | 東展示棟2ホール 小間番号2-06-08 |
|-----|----------------------|

②「ふくしの防災・避難用品コーナー」

2011年は東日本大震災や異常気象による災害で多くの福祉施設が被害を受けました。H.C.R. 2011では、今後の災害に備えるため、福祉施設向けの防災・避難用品や被災地で役立つ福祉機器を集中展示いたしました。

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 会 場 | 東展示棟1ホール内 「特設会場C」 |
| a. 展示 | 福祉施設向けの防災・避難用品 被災地で役立つ福祉機器 |
| b. デモンストレーション | |



③「子ども広場」

H.C.R. 2011では、親たちが子どもと一緒に福祉機器を捜して廻る労力を少しでも軽減させるため、「子ども広場」に子ども用の福祉機器を総合展示いたしました。あわせて子ども広場では、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーを設けました。また、2011年は新たに子ども用福祉機器に関わるセミナーを連日開催いたしました。

| | |
|--|--|
| 会 場 | 東展示棟1ホール内 「特設会場B」 |
| a. 展示 (常設) | 親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器の総合展示 ・車いす ・バギー、歩行器 ・いす、カーシート ・学習機器/コミュニケーション機器 ・食器用具 食器/衣類 靴 |
| b. 無料相談 (3日間とも11:00~12:00、13:00 ~ 14:00、15:00~16:00) | 相談内容: 療育相談、福祉機器相談 |
| c. ひとやすみコーナー | |
| d. 子ども用福祉機器セミナー (3日間とも15:30~16:30) | |

④「ふくしの相談コーナー」

会場内にふくしの相談コーナーでは、技師、作業療法士などの専門家が来場者の福祉機器、自助具に関わる相談に無料で応じました。

| | |
|-----|---|
| 会 場 | ア. 福祉機器相談 東展示棟2ホール 小間番号2-06-07 イ. 自助具相談 東展示棟4ホール 小間番号4-02-12 |
| 協 力 | 日本作業療法士協会 大阪府肢体不自由者協会大肢協ボランティアグループ自助具の部屋 |

